

平成25年12月24日

台湾国立中央大学内に
広島大学台湾研究センターを設置します

【教育機能、研究機能】

広島大学では現在、中国、ロシア、ケニア、ブラジル、ベトナム、インドネシア、韓国の7カ国に8つの海外拠点を設置しており、それぞれの機能や目的に応じて教育研究活動の国際展開を図っています。

12月27日、新たな海外拠点として台湾との学術交流、学生交流等の推進を目的とする広島大学台湾研究センターを設置します。

本センターは、中壢市^{ちゅうれきし}にある国立中央大学内に設置されますが、国立中央大学は台湾内で有数の総合大学であり、特に宇宙工学や天文学分野で優れた研究を行っており、台湾の重点研究大学7校の一つに選ばれている大学です。広島大学との間では平成21年2月に大学間協定を締結して、学術交流や学生交流を深めてきました。

なお、本センターの開所に際しては、浅原学長、佐藤副学長ほか本学の関係者が国立中央大学を訪問し、開所式を行う予定のほか、広島大学への関心を高めるための留学説明会（文学研究科，工学研究院，放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム，たおやかで平和な共生社会創生プログラム）を実施する予定です。

また、同日、本学の大学間協定校である台北医学大学（台北市）においても、医歯薬保健学研究科，放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムに係る留学説明会を行う予定です。

本センターの設置により、両大学間の学術交流、学生交流の更なる進展が期待されます。

【お問い合わせ先】

広島大学教育・国際室
国際交流グループ 梅下 健一郎
TEL:082-424-6184 FAX:082-424-4545